

「人の心が和む稲美町」をめざして！

令和の時代を迎え、先人達から受け継いできた美しい田園風景と、新たな人の流れを呼び込む活力あふれるまちづくりとの調和を図ることで、「人の心が和む稲美町（まち）」をめざして誠心誠意、取り組んでまいります。



『子育て支援』

子育て世代と高齢者等の多世代が交流できる子育て支援拠点施設の建設工事に取り組むとともに、保育所に対する保育士の人材確保の取り組みを促進し、さらに「子育てしやすいまち」をめざします。



『公共交通』

事前予約によりドア・ツー・ドアで自宅から町内の目的地へ送迎するデマンド型乗合タクシーを導入し、地域における交通手段の確保をめざします。



『土地利用の推進』

稲美北東部地区の土地利用基本計画の調査事業を進めるとともに、菊徳地区土地区画整理事業を推進し、調和のとれた土地利用を進めます。



『福祉の充実』

定期巡回・随時対応型の訪問介護看護事業所を地域介護の拠点として整備するとともに、障がいのある人が気軽に相談できる基幹相談支援センターを設置します。また、高齢者や障がいのある人が利用するタクシー券の利便性を拡充し、誰もが安心して暮らせる福祉社会の実現をめざします。

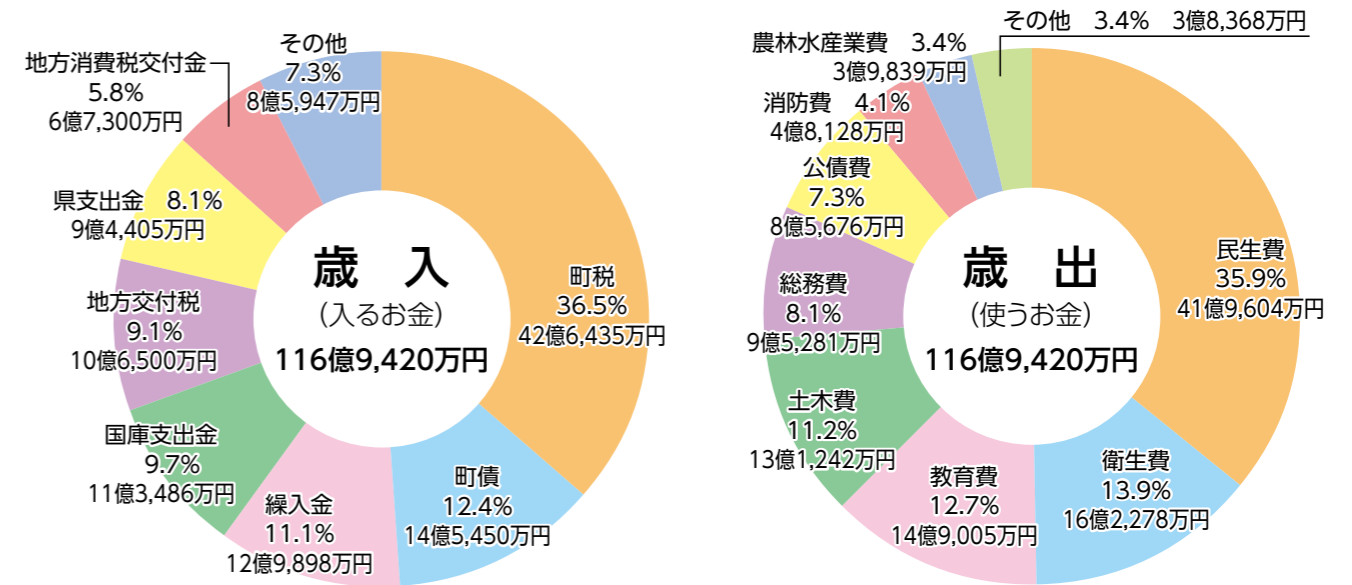


『教育環境の整備』

母里小学校の大規模改造Ⅲ期工事、稲美北中学校の大規模改造Ⅴ期工事を実施します。また、天満幼稚園においては、3歳児教育実施に向けた園舎増築工事の実施設計等に取り組み、教育環境の充実をめざします。

令和2年度当初予算

一般会計の内訳



一般会計予算額は116億9,420万円

各会計予算総括表

区分	予算額	対前年伸率
一般会計	116億9,420万円	12.5%
特別会計		
国民健康保険	37億3,684万円	1.1%
後期高齢者医療	4億7,703万円	11.7%
介護保険	24億253万円	4.1%
介護サービス	2,634万円	21.2%
計	66億4,274万円	2.9%
水道事業会計	9億7,565万円	2.5%
下水道事業会計	23億8,040万円	△1.5%
合計	216億9,300万円	7.3%

表示単位未満を四捨五入しており、積み上げと一致しない場合があります。

用語解説

地方交付税

財政力が弱い自治体でも、福祉や教育などの基本的な行政サービスができるよう国が配分するお金

町債

町の借金。道路や建物など何十年も使っていく施設の建設費を、今後利用する住民にも負担してもらうもの

公債費

借りたお金（町債）を返済していく費用

令和2年度の全会計の予算総額は216億9,300万円で、前年に比べて7.3%（14億8,109万円）の増額となりました。

一般会計の予算額は116億9,420万円で、子育て支援拠点施設の工事費や広域ごみ処理施設建設工事の本格的な整備に伴う負担金の増加などにより、前年に比べて12.5%（13億307万円）の増額となりました。歳入では、町税が法人税割の伸びなどにより増額となっています。また、大型事業の実施などに伴い町債についても増額となっています。結果、歳出の増加に対する収入の不足を基金（貯金）の取り崩しで穴埋めする厳しい財政状況となっています。このような状況の中ですが、福祉、教育、衛生、土木などの生活に密着した予算を確保したうえで、子育て支援に関する事業、公共交通に関する事業、土地利用と居住環境の整備に関する事業、福祉の充実に関する事業、教育環境の整備に関する事業など、稲美町の将来を見据えた予算としています。